

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	② (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	汚染水処理から発生するスラッジ等の水処理二次廃棄物の安定保管技術の検討
御提案者	(独)日本原子力研究開発機構
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>(1) 目的及び必要理由</p> <p>現在、汚染水の漏洩が問題となっており対策 (処理) が急がれているが、汚染水処理から発生するスラッジ等の水処理二次廃棄物は処理水の一部とともに容器内で保管されているため、汚染水処理が完了したとしてもスラッジ等の漏洩リスクが残ることになる。そのため、<u>漏洩リスクを低減した状態でスラッジを保管することが喫緊の課題</u>である。本技術開発では、スラッジ中の処理水と固形分を分離し、固形分を安定に保管する技術を開発する。技術開発の対象は、AREVA 除染装置から発生したスラッジ並びに ALPS から発生する炭酸塩スラッジ及び水酸化鉄スラッジとする。</p> <p>(2) 技術開発概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スラッジ処理フロー候補の検討           <p>処理対象スラッジの性状、保管状況等に関する情報を整理し、既存のスラッジ脱水処理技術等を参考に処理フローの候補を複数検討する。検討にあたっては、保管容器の再利用等による二次廃棄物発生量の低減、保管スペースの有効利用等についても考慮する。</p> </li> <li>・ 処理・保管施設の概念検討           <p>上記検討で得られた複数の処理フロー候補について、処理・保管施設の概念検討を実施し、技術的実現性、施設規模、コスト等を比較評価する。</p> </li> </ul>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む)           <ul style="list-style-type: none"> <li>- 既存のスラッジ脱水処理技術等の適用を想定している。</li> </ul> </li> <li>・ 開発・実用化に向けた課題・留意点           <ul style="list-style-type: none"> <li>- 高線量スラッジの取扱い</li> <li>- 二次廃棄物発生量の低減</li> <li>- 保管スペースの有効利用</li> </ul> </li> <li>・ その他 (特許等を保有している場合の参照情報等)           <p>なし</p> </li> </ul>	